研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 6 年 6 月 3 日現在

機関番号: 32612

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2019~2023

課題番号: 19H01322

研究課題名(和文)植民地期東南アジアにおける気候変動と社会変容 人文歴史気象学の創成

研究課題名(英文)Climate change and social transformation in colonial Southeast Asia

研究代表者

太田 淳(Ota, Atsushi)

慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授

研究者番号:50634375

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,200,000円

研究成果の概要(和文):1860年代-1920年代におけるジャワの稲作、バタヴィアの洪水、エーヤーワディー川流域の稲作、ルソン島の各種農業における異常気象の影響を分析した。その結果、異常な降水によってジャワ、エーヤーワディー側流域、ルソン島では大規模な不作が生じ、バタヴィアの洪水は大規模化して農業地域にまで 支んだことを明らかに**した**。

た。 また、アチェ戦争に従軍したオランダ海軍の船舶が、航海日誌に気象記録を残していることを確かめた。この デジタイズとデータベース化を進めるとともに、人文歴史気象学というコンセプトの理論的位置づけについて検 討を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義本研究は、1860年代-1920年代の東南アジア各地において、異常気象が不作や洪水、疫病などをもたらし、農村・都市社会に大きな影響を与えていたこと、およびそのプロセスを明らかにした。植民地期アジアの歴史気候資料は現在公開・デジタル化されて利用が進みつつあるが、本研究はそれらの資料の分析に基づいて異常な降水パターンが農村や都市社会に与えた影響を明らかにした最初期の研究成果の一つと言える。ここから得られた知見は、気候の温暖化と極端化が進みつつある現代の東南アジアや日本において、社会がどのように環境に適応し 共生していくかについて重要な視座を与えるものとなろう。

研究成果の概要(英文): We examined the impacts of abnormal weather on rice cultivation in Java, floods in Batavia, rice cultivation in Irrawaddy Valley, and various types of agriculture in Luzon Island. As a result, it is confirmed that extraordinary rainfall brought crop failure in Java, Irrawaddy Valley, and Luzon and expanded the floods in Batavia into the remote agricultural areas. We also confirmed that Dutch Navy ships participating in the Aceh War left meteorological records in their logbooks. Having made a digitized database from these logbooks, we also examined the concept of a "humanistic approach to historical climatology."

研究分野:東南アジア史

キーワード: 植民地期東南アジア 気候 降水 洪水 農業

1.研究開始当初の背景

近年の気象学者は世界各地の歴史的気象統計を発掘して古気候を復元しつつあり、特に洪水や エルニーニョ等の大規模現象を明らかにしてきた。しかし、より頻発する多雨や寒冷期などの中 程度の異常気象や中長期的な気候変動とその影響はようやく研究が進みつつある段階である。 また過去の人間社会が異常気象や気候変動にどのように取り組んでいたについても、まだ研究 が始められたばかりであり、十分明らかに出来ているとは言い難い。

2.研究の目的

本研究は、植民地期東南アジアにおいてどのような異常気象や気候変動が起き、人間社会がそれにどう対処してきたかを歴史的に明らかにすることを目的とする。中程度以下の異常気象や気候変動も人間の生活に非常に大きな影響を与えることは現在の状況から明白であり、それらが過去にも頻発していたことは歴史気象学が明らかにしつつある。そこで本研究では歴史学者が、歴史気象が人間社会に与えた影響の解明に気象学者と協力しつつ率先して取り組み、(1)人間社会が過去にどのような異常気象や気候変動を経験したのか、(2)人間社会はそれにどのように対処してきたのか、そして(3)その結果として農業開発や都市形成の歴史をどのように再構築できるのかを明らかにすることを目的とする。さらに本研究は、異常気象や気候変動を気象自体のメカニズムとして説明するのでなく、それに人間社会がどのように対応し対策を取ってきたかを検討する人文歴史気象学の創造を試み、そうした歴史的経験をどのように今後の社会に活かせるのかという問いに対しても歴史学と気象学の融合によって回答を試みる。

3.研究の方法

研究分担者の財城は、 19世紀後半から 20世紀前半におけるオランダ領東インドで観測された降水量の観測記録(Regenwaarnemingen in Nederlandsch-Indie (Rainfall observation in Dutch-Indies))のうち,観測地点(緯度経度や標高など)の同定やデータの品質管理が完了している 1901~1916 年の Medan, Palembang, Batavia (Jakarta), Banjarmasin, Makassar, Ambonの 6地点について,季節変動および年々変動の特徴について分析を行った。また ジャワ島において米の不作が生じた 1919-1921 年の気圧と気温について,長期再解析データを使用して大気循環の分析を行い,特異な気候をもたらした要因の考察を行った。

研究分担者の赤坂は、フィリピンで植民地期に生じた異常気象発生年を特定するために、アテネオ・デ・マニラ大学図書館で気候・気象関連の資料調査を行い、20 世紀前半以前の台風や水害、干ばつに関する資料を入手した。これと、マニラの日降水量データをもとに調査対象とする異常気象発生年を絞り込んだ。また、農業に関する資料として、1902~1907 年のフィリピン気象月報から作況報告を収集し、異常気象が農業に与えた影響を分析した。分析には、フィリピン気気象月報から研究分担者(赤坂)がこれまでに電子化してきた気象データも使用した。

研究分担者の長田は植民地期ビルマの地点別降雨量データと県別の米収穫量を分析した。

代表者の太田は財城の利用した資料に加えて、オランダ王立気象研究所からも別期間の未公開 資料の提供を受け、ジャワ各地の月別降水量を分析した。また、植民地政庁が作成した各種の農 業統計資料や農村調査資料、疫病に関する資料を調査して不作や疫病の発生と降雨パターンと の関連を検討した。

研究協力者の笹本は、蘭領東インドのバタヴィア(現ジャカルタ)で発行された日刊紙 De Java Bode および Bataviaasch Nieuwsblad の新聞記事データベースに基づき、洪水に関する新聞記事を分析し、洪水の発生日、浸水の状況、浸水期間、洪水の要因、被害状況等を整理した。また、20世紀前半の縮尺5万分の1等地形図を収集し、バタヴィア都市域の土地被覆データに変換し、洪水発生状況と土地被覆との関係を検討した。また、公共事業局の年次報告書、エンジニアおよび技師が専門雑誌に投稿した報告書等を収集し解読して、当植民地公共事業局のエンジニアが、洪水の発生要因、洪水対策についてどのように検討し、実際にどのような事業を実施したかを明らかにした。加えて、農業地帯での洪水発生状況を把握するため、1900年から1910年までのスマラン理事州における雨季(12月から翌年4月まで)の新聞記事を収集し、内容を分析した。

研究分担者の塚原はオランダ海軍の航海日誌を検討し、植民地期東南アジアの気候を記録した 資料として利用可能であることを確認した。アチェ戦争に従軍した船舶が、戦時の気象記録を残 していることを確かめ、この記録のデジタイズとデータベース化に取り組んだ。

4. 研究成果

財城は 上記6地点について,北西アジアモンスーンの影響を強く受け明瞭な乾季と雨季があるパターン,逆に雨季・乾季が不明瞭なパターン,南東モンスーンが山岳傾斜によって雨季と乾季が明瞭になるパターンがあることを明らかにした。さらに,年降水量の年々変動は地点によって大きく異なるが,長期的な増加・減少傾向について有意な結果が得られなかった. 対象とし

た3年のうち,特に1919年の雨季は少雨・低温,乾季は多雨・低温傾向が顕著であることを明らかにした.しかしながら,気圧場と気温偏差の関係は必ずしも一致しておらず,今後,モンスーン(風向風速)などを考慮した解析が必要と思われる.

赤坂は 19 世紀後半~20 世紀前半のマニラにおける年降水量と季節降水量 (5~10 月、11~4月)を基準に、多雨年と少雨年をそれぞれ 2~5 年ずつ抽出した。中でも、少雨と不作が見られた 1903 年と 1938 年に着目して、降水量の地域性や季節性を詳細に分析した。1938 年に関しては、マニラの夏季モンスーン期 (7~8)降水量が平均の 5 割ほどしかなかったことや、同様の傾向がマニラを含むルソン島西部で広く表れていたことを確かめたが、干ばつにより米の価格が上昇したことが一部資料に記載されていたものの、農業資料の不足により、干ばつと農業被害との関連を具体的に分析することはできなかった。1903 年は、植民地期において特に著しい少雨年であった。マニラでは乾季(平均は2~4月)が6月頃まで続き、雨季入りが1ヶ月ほど遅れ、雨季(平均では5~10月)の降水量も平均の5割ほどであった。雨季入りの遅れにより、フィリピン北西部では4~6月に40 近い高温が広く観測されていたことも分かった。また、1903年の3~6月の少雨と高温に対応してルソン島北西部では、播種の遅れや見送り、農作物収量の減少に関する報告が増加していたことを確かめた。一方、農業被害の要因には干ばつに加え、イナゴの大量発生、家畜の病気やコレラ等の流行による労働力不足もあることが明らかとなった。干ばつの要因としては、1902年夏季~1903年初めに発生していたエルニーニョ現象の影響が示唆されるが、要因の特定には広域の大気環境場や海面水温を含めた更なる分析が必要である。

長田はビルマ平地部において、雨季中期の多雨と雨季晩期の少雨が重なる降雨パターンの際に 凶作になりやすいことを見出した。雨季中期の多雨はエーヤーワディー川の洪水を大規模化さ せ、雨季晩期の少雨は洪水が引いたあとに再移植したイネの発育不良に結びついた可能性を指 摘した。

太田は1910-30年代のバタヴィアにおいてマラリアが発生する際に特有の降水パターンがあったことと、当時のマラリア防遏政策に気候に関する知識と都市工学を組み合わせる発想があったことを明らかにした。1917年のバタヴィアにおけるマラリア流行の際に最大の被害を出したマンガブサール地区では、洪水で水たまりが出来たあとに雨がやみ気温が上がったことでボウフラが発生したことが流行の原因であったと結論づけた。また、ジャワ農村調査資料において1920年の乾季に異常な降雨が見られ、翌年のイネ病害の発生につながったと報告されていることを見出し、実際に各地の降雨データと参照させて、不作発生地域と異常降雨が起きた地域が一致することを確かめた。当時は降雨パターンと不作の関係が分かっていなかったが、1950年代以降のイネ病虫害に関する研究を分析して、1921年にジャワでイネの不作をもたらした要因は、特定の線虫がもたらす病害であったことを明らかにした。

笹本は新聞記事の分析に基づき 1853 年から 1916 年の計 123 日分の浸水情報を明らかにし、 洪水の発生状況、被害、経年変化、治水事業との関係、都市部の衛生問題についてより正確な分析を可能にした。主に明らかになったことは、次のとおりである。 1870 年から 1885 年にかけては頻繁に洪水が発生し、浸水が市街地とカンプンの両方を含む広範囲に及ぶ傾向があった。 1872 年,1876 年,1885 年には歴史的に多量の降雨があり大規模で期間の長い洪水が発生した。

1872 年に計画され 1881 年までに完成した洪水対策事業は浸水範囲を狭める効果があった可能性がある。 同対策事業の 1 つであるグヌンサハリ放水路の可動堰が洪水時に開放されるようになった 1886 年以降に市街地の浸水は減少したもののカンプンでの浸水は継続した。 1879 年から 1900 年までのチリウン川沿い 6 地点の日雨量と洪水発生を考察したところ,バタヴィアで殆ど雨が降っていなくても上中流部の降雨によりバタヴィアで外水氾濫が発生した。 上中流部の降雨によりバタヴィアの河川・水路の水位が高くなり,そこにバタヴィアでの降雨により内水氾濫が発生したとみられる。 1899 年 2 月には外水氾濫と内水氾濫が複合して発生した状況が明らかになった。また、スマラン理事州における雨季の洪水については、比較的大きな河川流域の氾濫原地帯にある農業地域で洪水が頻発していた状況を明らかにした。

塚原は入手した資料から具体的データのあるものを選定し、デジタイズを進めた。これらの成果は、東南アジア海域での気象資料を含むものであり、現在データベース化が済んだものを JCDP でのウェブ公開に向けて検証・整理を進めている。また文理融合コンセプトである、人文歴史気象学について理論的な位置付けについては、方法論として科学史・科学哲学の面から、特にフンボルト主義との関係(特にインストルメンタリゼーション、自然の機器による観測と数量化)についての検討を進めた。成果としては、『思想』への論文として発表している。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計33件(うち査読付論文 3件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 6件)

1 . 著者名	4.巻
Masumi ZAIKI, Theo BRANDSMA	58
2.論文標題	5 . 発行年
Data Rescue of Rainfall Records from the Dutch East Indies	2023年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University	79-85
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 .巻
Akasaka, I.	58
2.論文標題	5 . 発行年
Diurnal cycle of surface wind and its seasonality at Manila, Philippines, from 1890 to 1900	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University	1-8
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 塚原 東吾	4 .巻 1183
2 . 論文標題 気候変動論におけるデジタル・フンボルト主義とデータレスキュー : 地球システム科学における人文学の 役割環境人文学	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
思想	59-80
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
塚原 東吾,瀬戸口 明久,田中 祐理子,小川 眞里子,美馬 達哉,藤原 辰史	301
2.論文標題 シンポジウム コロナをどう考えるか? 科学史からの直球勝負	
77 (17) II II II I I I I I I I I I I I I I I	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 科学史研究. [第 期] = Journal of history of science, Japan. [Series]	
3 . 雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁

1 . 著者名	
	4 . 巻
塚原 東吾,愼 蒼健,シェル エリクソン,ヒロミ ミズノ,西山 崇,キム テホ,藤原 辰史,山根 伸洋	301
2 . 論文標題	5.発行年
シンポジウム アーロン・モーアの見たもの、遺したもの : 追悼シンポジウム	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
- 科学史研究. [第 期] = Journal of history of science, Japan. [Series]	34-42
17于文则元. [宋 郑] = Journal of History of Scrence, Japan. [Series]	J4-42
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	7 11
	国際共著
=	当你 不有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
,著者名	4 . 巻
	2022s
三上 岳彦, 財城 真寿美, 長谷川 直子, 平野 淳平, 塚原 東吾, バートン ブルース	20225
論文標題	5 . 発行年
日記天候記録と気象データによる過去320年間の気温変動復元	2022年
ロルス	2022 1
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6.最初と最後の頁
日本地理学会発表要旨集	35
3##±50+0001 / =*** 511 + =*** 51 + ##01/7 \	本共の大畑
載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
ープンアクセス	国際共著
	日かハコ
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. 著者名	4 . 巻
久保田 尚之,松本 淳,赤坂 郁美,塚原 東吾,太田 淳	2022a
AND DATE OF WINDOWS, WAS AND AND OF	
호스····································	г 2 5/=/т
論文標題	5 . 発行年
航海日誌の気象データを用いた南シナ海夏季モンスーンオンセットの長期変動	2022年
	•
	•
· 雜誌名	6.最初と最後の頁
	•
. 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本地理学会発表要旨集	6.最初と最後の頁
. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集	6.最初と最後の頁
・雑誌名 日本地理学会発表要旨集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 106 査読の有無
. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集	6 . 最初と最後の頁 106
・雑誌名 日本地理学会発表要旨集 記載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 106 査読の有無 無
・雑誌名 日本地理学会発表要旨集 「「「「デジタルオブジェクト識別子」 なし	6 . 最初と最後の頁 106 査読の有無
. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 106 査読の有無 無
・雑誌名日本地理学会発表要旨集掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なしープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 106 査読の有無 無
	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著
 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 「載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 ・著者名 	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著
. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 「「載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著
	6 . 最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2022s
. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集	6 . 最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2022s
. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし ープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 久保田 尚之,塚原 東吾,平野 淳平,財城 真寿美,松本 淳, De Jong Alice . 論文標題	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022s
. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 「「ままれ」」 「おし」 「アプンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 ・著者名 久保田 尚之,塚原 東吾,平野 淳平,財城 真寿美,松本 淳, De Jong Alice	6 . 最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2022s
. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし ・	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022s 5.発行年 2022年
. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし ・	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022s
3. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 調動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022s 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 日本地理学会発表要旨集 調載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし アプンアクセス	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022s 5.発行年 2022年
. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 翻論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし ープンアクセス	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022s 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
3. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 記載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし イープンアクセス	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022s 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 152
3. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 4.巻 2022s 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
3. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 記載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし イープンアクセス	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022s 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 152
3. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022s 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 152
3. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 『載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 久保田 尚之,塚原 東吾,平野 淳平,財城 真寿美,松本 淳, De Jong Alice 2. 論文標題 オランダ軍艦の航海日誌に基づいて推定した安政江戸台風の大きさ 3. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集 『載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022s 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 152 査読の有無
3. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集	6.最初と最後の頁 106 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022s 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 152

	4 . 巻
- ・ 有有石 - 笹本浩子	4 · 글 42
E47A J	12
2.論文標題	5 . 発行年
・ 臓気	2022年
東視木1ノ1・0パナソイナ にのける 15 世紀校十の 附子の 六小板座	20224
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
土木史研究講演集	133 - 141
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际六有 -
オーノンアフとへとはない、大はオーノンアフとへが困難	-
4 ***	4 **
1. 著者名	4 . 巻
Hirano Junpei、Mikami Takehiko、Zaiki Masumi	18
- AA \ WDT	
2. 論文標題	5 . 発行年
Analysis of early Japanese meteorological data and historical weather documents to reconstruct	2022年
the winter climate between the 1840s and the early 1850s	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Climate of the Past	327 ~ 339
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.5194/cp-18-327-2022	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Kubota Hisayuki、Matsumoto Jun、Zaiki Masumi、Tsukahara Togo、Mikami Takehiko、Allan Rob、	164
Wilkinson Clive、Wilkinson Sally、Wood Kevin、Mollan Mark	
2.論文標題	5 . 発行年
Tropical cyclones over the western north Pacific since the mid-nineteenth century	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Climatic Change	1-19
	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10584-021-02984-7	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10584-021-02984-7	査読の有無無無
10.1007/s10584-021-02984-7	無
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス	
10.1007/s10584-021-02984-7	無
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原 東吾	無 国際共著 - 4.巻 49(11)
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原 東吾	無 国際共著 - 4.巻 49(11) 5.発行年
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原 東吾	無 国際共著 - 4.巻 49(11)
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原 東吾 2 . 論文標題 『復活の日』とSFの終わりの始まり : 科学史から見た小松左京	無 国際共著 - 4.巻 49(11) 5.発行年 2021年
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原 東吾 2 . 論文標題 『復活の日』とSFの終わりの始まり : 科学史から見た小松左京 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4.巻 49(11) 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原 東吾 2 . 論文標題 『復活の日』とSFの終わりの始まり : 科学史から見た小松左京	無 国際共著 - 4.巻 49(11) 5.発行年 2021年
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原 東吾 2 . 論文標題 『復活の日』とSFの終わりの始まり : 科学史から見た小松左京 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4.巻 49(11) 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原 東吾 2 . 論文標題 『復活の日』とSFの終わりの始まり: 科学史から見た小松左京 3 . 雑誌名 現代思想	無 国際共著 - 4 . 巻 49(11) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 265-276
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原 東吾 2 . 論文標題 『復活の日』とSFの終わりの始まり : 科学史から見た小松左京 3 . 雑誌名 現代思想	無 国際共著 - 4 . 巻 49(11) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 265-276 査読の有無
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原 東吾 2 . 論文標題 『復活の日』とSFの終わりの始まり: 科学史から見た小松左京 3 . 雑誌名 現代思想	無 国際共著 - 4 . 巻 49(11) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 265-276
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原 東吾 2 . 論文標題 『復活の日』とSFの終わりの始まり: 科学史から見た小松左京 3 . 雑誌名 現代思想	無 国際共著 - 4 . 巻 49(11) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 265-276 査読の有無 無
10.1007/s10584-021-02984-7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 塚原 東吾 2.論文標題 『復活の日』とSFの終わりの始まり: 科学史から見た小松左京 3.雑誌名 現代思想	無 国際共著 - 4 . 巻 49(11) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 265-276 査読の有無

1 . 著者名	1 . W
	4 . 巻
塚原東吾	1(4)
2.論文標題	5.発行年
科学史から見た『人新世』: フンボルト主義というステップ	2021年
111 28 3500 7000 2001 23001 23001	2021 1
	6.最初と最後の頁
たぐい	65-77
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カープラックと外にはない。人はカープラックとハガ田衆	
4 ***	4 24
1.著者名	4 . 巻
笹本浩子	41
2.論文標題	5.発行年
1870年代の蘭領東インドの植民地都市バタヴィアにおける洪水防御計画	2021年
	20217
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
土木史研究講演集	77 - 84
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
カープンテクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
クロステンドス Clada い、 入la カーノファンドス に人が凶無	<u> </u>
4 英名名	1 4 24
1. 著者名	4 . 巻
小野坂海斗・塚原東吾	19
	1
2.論文標題	5.発行年
·····	
2.論文標題 人新世とマルクス:斎藤幸平は次世代を引き込めるか?	5 . 発行年 2020年
人新世とマルクス:斎藤幸平は次世代を引き込めるか?	2020年
人新世とマルクス:斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
人新世とマルクス:斎藤幸平は次世代を引き込めるか?	2020年
人新世とマルクス:斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
人新世とマルクス:斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ	2020年 6 . 最初と最後の頁 1-65
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無
人新世とマルクス:斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ	2020年 6 . 最初と最後の頁 1-65
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか?3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無
 人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著
 人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 -
 人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著
 人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18
 人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 -
 人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 塚原東吾、松嶋登他 2.論文標題	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 塚原東吾、松嶋登他 2.論文標題 神戸のSTS: スプリング8と低線量被曝	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2020年
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか?3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセスオープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 塚原東吾、松嶋登他2.論文標題 神戸のSTS: スプリング8と低線量被曝3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2020年
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名塚原東吾、松嶋登他 2.論文標題神戸のSTS: スプリング8と低線量被曝 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 塚原東吾、松嶋登他 2.論文標題 神戸のSTS: スプリング8と低線量被曝 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 109-126
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名塚原東吾、松嶋登他 2.論文標題神戸のSTS: スプリング8と低線量被曝 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 塚原東吾、松嶋登他 2.論文標題 神戸のSTS: スプリング8と低線量被曝 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 109-126
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 塚原東吾、松嶋登他 2.論文標題 神戸のSTS: スプリング8と低線量被曝 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 109-126 査読の有無
 人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 109-126 査読の有無 無
人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 塚原東吾、松嶋登他 2.論文標題 神戸のSTS: スプリング8と低線量被曝 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 109-126 査読の有無
 人新世とマルクス: 斎藤幸平は次世代を引き込めるか? 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 塚原東吾、松嶋登他 2.論文標題 神戸のSTS: スプリング8と低線量被曝 3.雑誌名 神戸STS叢書シリーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 	2020年 6.最初と最後の頁 1-65 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 109-126 査読の有無 無

	. 44
1 . 著者名	4.巻
吉岡克己、塚原東吾 [ほか]	17
2.論文標題	5 . 発行年
姫路科学館収蔵旧制姫路高等学校コレクション物理実験機器資料	2020年
	2020—
0. 1854.07	C = 171 174 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
神戸STS叢書シリーズ	201-206
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
13 J J J J C I C I C I C I C I C I C I C I	
. ***	
1.著者名	4 . 巻
Hisayuki Kubota, Jun Matsumoto, Masumi Zaiki, Togo Tsukahara, Takehiko Mikami, Rob Allan, Clive	164
Wilkinson, Sally Wilkinson, Kevin Wood & Mark Mollan	
2 . 論文標題	5.発行年
Tropical cyclones over the western north Pacific since the mid-nineteenth century	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Climatic Change	1-19
or marro onange	1-13
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s10584-021-02984-7	無
.555655	<i>₩</i> 2
オープンアクセス	国際共革
* * * * * = * *	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
1.著者名	4 . 巻
	_
Togo Tsukahara, Jianjun Mei	14 (2)
2.論文標題	5 . 発行年
Putting Joseph Needham in the East Asian Context: Commentaries on Papers about the Reception of	2020年
Needham's Works in Korea and Taiwan	!
	6 目知に目後の百
ე 杜士夕	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL	6. 取例と取役の貝 403-410
27 112 1 7	
27 112 1 7	
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL	403-410
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	403-410 査読の有無
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL	403-410
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	403-410 査読の有無 無
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	403-410 査読の有無
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	403-410 査読の有無 無
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	403-410 査読の有無 無
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	403-410 査読の有無 無 国際共著
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	403-410 査読の有無 無
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	403-410 査読の有無 無 国際共著
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	403-410 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾	403-410 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 論文標題	403-410 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾	403-410 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 論文標題 コロナから発される問い	403-410 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 論文標題	403-410 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 論文標題 コロナから発される問い 3 . 雑誌名	403-410 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 論文標題 コロナから発される問い	403-410 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 論文標題 コロナから発される問い 3 . 雑誌名	403-410 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Bath Science Technology AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 論文標題 コロナから発される問い 3 . 雑誌名 現代思想	本語の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 145-155
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 論文標題 コロナから発される問い 3 . 雑誌名	403-410 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 論文標題 コロナから発される問い 3 . 雑誌名 現代思想	本語の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 145-155 査読の有無
Bath Science Technology AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 論文標題 コロナから発される問い 3 . 雑誌名 現代思想	本語の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 145-155
### EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	本読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 145-155
### EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	本語の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 145-155 査読の有無
EAST ASIAN SCIENCE TECHNOLOGY AND SOCIETY-AN INTERNATIONAL JOURNAL 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	本読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5月号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 145-155

1.著者名	4 . 巻
塚原 東吾	54
2.論文標題	5 . 発行年
気候正義と科学史 : 科学論の観点から見て「人新世」が提起していること	2020年
3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁
地質学史懇話会会報	72-78
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
久保田 尚之 ,Mollan Mark ,松本 淳 ,財城 真寿美 ,塚原 東吾 ,三上 岳彦 ,Allan Rob , Wilkinson Clive ,Wilkinson Sally ,Wood Kevin	3
2.論文標題	5 . 発行年
「過去の災害をどう探るか?: 古気候記録の収集・分析と市民科学の試み (特集 マイノリティ・アーカイ プズの構築・研究・発信) 」	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『立命館生存学研究』	17-31
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.34382/00012854	#
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
塚原東吾	74(8)
2.論文標題	5 . 発行年
│ 「オリンピックとカジノ万博は現代のバベルの塔か? : 科学技術とプロテスタンティズムの倫理 (特集 現 │ 代のバベルの塔 : 反オリンピック・反万博) 」	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『福音と世界』	30-35
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	且就 以 有無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	四际六百 -
1 英老夕	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1 . 著者名 赤坂郁美	4 .巻 51
2.論文標題	5 . 発行年
1890年代のマニラにおける風と降水量の季節進行	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
専修自然科学紀要 	21-26
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

1.著者名	4 . 巻
大田淳 大田淳	89-4
2 . 論文標題	5.発行年
海域東南アジアの「18-19世紀転換期」と近代への接続	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
社会経済史学	391-406
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
 オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オーノンアクセスとはない、又はオーノンアクセスが困難	-
	4 . 巻
Ota Atsushi	4 · 공 12-1
Ota Atsusiii	12-1
2.論文標題	5.発行年
"Introduction," SPECIAL FOCUS Environment and Public Welfare in the Creation and Development	2023年
of Economic Infrastructure in Southeast Asia, c. 1800-1930: Currency Supply, Forest Control,	2020-
and Rail Transport	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Southeast Asian Studies	3-12
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.20495/seas.12.1_3	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Ishii, M., Kamahori, H., Kubota, H., Zaiki, M. 他9名	102
2 *A-2-1817	F 36/-/-
2.論文標題	5.発行年
Global Historical Reanalysis with a 60-km AGCM and Surface Pressure Observations: OCADA	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
lournal of the Meteorological Conjety of Japan Cor II	
Journal of the Meteorological Society of Japan. Ser. II	209-240
Journal of the Meteorological Society of Japan. Ser. II	
	209-240
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	209-240 査読の有無
	209-240
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	209-240 査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010	209-240 査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス	209-240 査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス	209-240 査読の有無 有
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	209-240 査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	209-240 査読の有無 有 国際共著 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	209-240 査読の有無 有 国際共著 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 長田紀之	209-240 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 84 Mar/Apr
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 長田紀之 2 . 論文標題 ミャンマーの古くて新しい内戦 その多元性と持続性	209-240 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 84 Mar/Apr 5 . 発行年 2023年
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス	209-240 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 84 Mar/Apr 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 長田紀之 2 . 論文標題 ミャンマーの古くて新しい内戦 その多元性と持続性	209-240 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 84 Mar/Apr 5 . 発行年 2023年
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス	209-240 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 84 Mar/Apr 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス	209-240 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 84 Mar/Apr 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 110-116
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス	209-240 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 84 Mar/Apr 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 110-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス	209-240 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 84 Mar/Apr 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 110-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 長田紀之 2 . 論文標題 ミャンマーの古くて新しい内戦 その多元性と持続性 3 . 雑誌名 外交 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	209-240 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 84 Mar/Apr 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 110-116 査読の有無 無
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.2151/jmsj.2024-010 オープンアクセス	209-240 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 84 Mar/Apr 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 110-116

1.著者名 赤坂郁美	4 .巻 114
2.論文標題 フィリピン・ルソン島西部における1903年の異常気象の特徴と農作物への影響	5 . 発行年 2024年
3.雑誌名 専修人文論集	6.最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 KUBOTA Hisayuki , TSUKAHARA Togo , HIRANO Junpei , MATSUMOTO Jun , ZAIKI Masumi , MIKAMI Takehiko , ALLAN Rob , WILKINSON Clive , WILKINSON Sally , DE JONG Alice	4.巻 18-2
2 . 論文標題 外国船の航海日誌に記録された気象測器データによる江戸時代末期に日本に接近した台風の解析	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 The Association of Japanese Geographers	6 . 最初と最後の頁 412-422
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.4157/ejgeo.18.412	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1.著者名 村上 陽一郎,塚原 東吾	4.巻 1194
2.論文標題 科学史・科学哲学にクーンがもたらしたもの - トマス・クーン	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 思想	6 . 最初と最後の頁 7-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 塚原 東吾	4.巻 1194
2.論文標題 ポスト・クーン主義と『科学革命の構造』: 現代的な読み直しのために	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 思想	6 . 最初と最後の頁 48-66
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名 隠岐 さや香,塚原 東吾	4.巻 51(7)
2.論文標題 無知の力と新しい啓蒙	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 現代思想	6.最初と最後の頁 8-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

〔学会発表〕	計69件	(うち招待講演	6件 / うち国際学会	43件)
しナム元収!	DIOSII '	しつい山い冊/宍	の1 / フロ田原丁ム	7011

1 . 発表者名

Masumi ZAIKI

2 . 発表標題

Data rescue of instrumental meteorological records in Japan since the 19th century

3 . 学会等名

The International Workshop on Climate, Water, Land, and Life in Monsoon Asia (国際学会)

4 . 発表年 2023年

- 1.発表者名 財城真寿美
- 2 . 発表標題 江戸の気候変動
- 3.学会等名 成蹊大学アジア太平洋研究センターオンライン講演会「東京の気候変動~身近な吉祥寺の気候から江戸の気候まで~」
- 4 . 発表年 2022年
- 1.発表者名

鴨川仁,財城真寿美,林修吾,松本淳

2 . 発表標題

日記記録と気象庁観測に基づく東京と金沢における雷日数の経年的増加について

3.学会等名

日本大気電気学会第101回研究発表会

4 . 発表年 2023年

1	
	. 発表者名 Akasaka,I.
2	. 発表標題 Seasonal changes in rainfall and surface wind at Manila for the late 19th century
	NV A detector
3	. 学会等名 The international workshop on climate, water, land, and life in Monsoon Asia(国際学会)
4	· . 発表年 2023年
1	.発表者名
	赤坂郁美・財城真寿美・久保田尚之・松本 淳
2	. 発表標題
	2022. 19世紀後半~20世紀前半のマニラにおける降水量と卓越風系の季節進行
2	· 学会等名
	日本気象学会2022年度秋季大会
4	発表年
	2022年
1	. 発表者名 長田紀之
2	発表標題
	「趣旨説明」(大会シンポジウム アンソニー・リード著『世界史のなかの東南アジア』日本語版刊行記念シンポジウム「全体史を通じた総合と対話の試み 新しい通史と翻訳の問題をめぐって」)
3	. 学会等名 東南アジア学会第104回研究大会
	· . 発表年
4	
4	2022年
	2022年
1	2022年 . 発表者名 長田紀之
1	2022年 . 発表者名
2	2022年 . 発表者名 長田紀之 2 . 発表標題 「趣旨説明」
2	2022年 . 発表者名 長田紀之 . 発表標題 「趣旨説明」 . 学会等名 HMC第84回オープンセミナー「東南アジアから/で世界を視る:人文系地域研究のアクチュアリティ」
2	2022年 . 発表者名 長田紀之 . 発表標題 「趣旨説明」
2	2022年 . 発表者名 長田紀之 . 発表標題 「趣旨説明」 . 学会等名 HMC第84回オープンセミナー「東南アジアから / で世界を視る:人文系地域研究のアクチュアリティ」 . 発表年
2	2022年 . 発表者名 長田紀之 . 発表標題 「趣旨説明」 . 学会等名 HMC第84回オープンセミナー「東南アジアから / で世界を視る:人文系地域研究のアクチュアリティ」 . 発表年
2	2022年 . 発表者名 長田紀之 . 発表標題 「趣旨説明」 . 学会等名 HMC第84回オープンセミナー「東南アジアから / で世界を視る:人文系地域研究のアクチュアリティ」 . 発表年

1. 発表者名
Atsushi Ota
Rainfall and Malaria in Batavia, 1921–38
3.学会等名
The International Workshop on Climate, Water, Land, and Life in Monsoon Asia
The international northing on example, nater, Early, and Erre in monocon you
4 . 発表年
2023年
2020 ;
1.発表者名
Atsushi Ota
Atousin ord
2.発表標題
Rainfall and Malaria in Batavia, 1911–38
3. 学会等名
The 2023 Association for Asian Studies (AAS) Annual Meeting
- 70 - 10
4. 発表年
2023年
4 8 4 4 6
1. 発表者名
笹本浩子
2.発表標題
・
開張水 「) 「 O) () 「 C O) O TO C MO C 」 O ING-FO ING-ME
3.学会等名
土木学会第42回土木史研究発表会
4. 発表年
2022年
1. 発表者名
太田淳
2 ※主播時
2.発表標題
ジャワにおける1920-21年の米危機 異常気象と糖業の影響
3 . 学会等名
社会経済史学会第91回全国大会
4.発表年
2022年

2 . 果表情語 世界・日本の気候変動に関する自然科学的知見 3 . 学会等名 成漢大学アプア太平洋研究センター・朝日新聞共同企画オンライン議済会 4 . 果表年 2021年 2 . 果表に選 気候変動で読み解く日本史 3 . 学会等名 全国高校生塚寒305sサミット 4 . 果表年 2021年 1 . 果素を名 Mosumi ZAIKI 2 . 果素を書 Mosumi ZAIKI 2 . 果素を書 The State Birupean Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4 . 発表を 2021年 1 . 果素を名 Mosumi ZAIKI 2 . 果素を書 The State Birupean Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4 . 発表を 2021年 2 . 果素を名 Junpel HIRAND, Takehiko MIKANI, Mesumi ZAIKI 2 . 果素を名 Junpel HIRAND, Takehiko MIKANI, Mesumi ZAIKI 3 . 学会等名 The State Birupean Association for Southeast Asian Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3 . 学会等名 The State Birupian Birupian Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4 . 発表を 2021年	1.発表者名 財城真寿美
世界・日本の気候変動に関する自然科学的知見 3 . 学会等名 成族大学アプア太平洋研究センター・朝日新聞共同企画オンライン講演会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 財城真寿美 2 . 発表標題 気候変動で読み解く日本史 3 . 学会等名 全国高校生模求SDGsサミット 4 . 発表年 Masumi ZAIKI 2 . 発表機器 Characteristics of rainfall variability and the abnormal condition in the dry year in Java based on the 1901-1916 Indonesian rainfall data 3 . 学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4 . 発表年 Junpel HIRANO, Takehiko MIKANI, Wasumi ZAIKI 2 . 発表機器 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3 . 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4 . 発表年	
A. 発表年 2021年 1. 発表者名 財協真寿美 2. 発表標題 気候変動で誘み解く日本史 3. 学会等名 全国高校生探求5056サミット 4. 発表者名 Masumi ZAIKI 2. 発表標題 Characteristics of rainfall variability and the abnormal condition in the dry year in Java based on the 1901-1916 Indonesian rainfall data 3. 学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 3. 学会等名 The 51th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2. 発表構題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3. 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4. 発表年	
A. 発表年 2021年 1. 発表者名 財協真寿美 2. 発表標題 気候変動で誘み解く日本史 3. 学会等名 全国高校生探求5056サミット 4. 発表者名 Masumi ZAIKI 2. 発表標題 Characteristics of rainfall variability and the abnormal condition in the dry year in Java based on the 1901-1916 Indonesian rainfall data 3. 学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 3. 学会等名 The 51th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2. 発表構題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3. 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4. 発表年	
1. 発表者名 財城真寿美 2. 発表標題 気候変動で読み解く日本史 3. 学会等名 全国高校生探求SDGsサミット 4. 発表者名 Masumi ZAIKI 1. 発表者名 Masumi ZAIKI 3. 学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4. 発表年 2021年 3. 学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Junpel HIRANO, Takehiko MIKANI, Masumi ZAIKI 2. 発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3. 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4. 発表年	
R 発表名の 財協貿寿美 R 教機変動で読み解く日本史 R 発表権	
B N	
3. 学会等名 全国高校生探求SDGsサミット 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Masumi ZAIKI 2. 発表標題 Characteristics of rainfall variability and the abnormal condition in the dry year in Java based on the 1901-1916 Indonesian rainfall data 3. 学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2. 発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3. 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4. 発表年	
全国高校生探求SDGSサミット 4.発表年 2021年 1.発表者名 Masumi ZAIKI 2.発表標題 Characteristics of rainfall variability and the abnormal condition in the dry year in Java based on the 1901-1916 Indonesian rainfall data 3.学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4.発表年 2021年 1.発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKANI, Masumi ZAIKI 2.発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3.学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4.発表年	
1. 発表者名 Masumi ZAIKI 2. 発表標題 Characteristics of rainfall variability and the abnormal condition in the dry year in Java based on the 1901-1916 Indonesian rainfall data 3. 学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2. 発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3. 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4. 発表年	
Assumi ZAIKI 2. 発表標題 Characteristics of rainfall variability and the abnormal condition in the dry year in Java based on the 1901-1916 Indonesian rainfall data 3. 学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2. 発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3. 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4. 発表年	
2. 発表標題 Characteristics of rainfall variability and the abnormal condition in the dry year in Java based on the 1901-1916 Indonesian rainfall data 3. 学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2. 発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3. 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4. 発表年	
Characteristics of rainfall variability and the abnormal condition in the dry year in Java based on the 1901-1916 Indonesian rainfall data 3 . 学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2 . 発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3 . 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4 . 発表年	
Characteristics of rainfall variability and the abnormal condition in the dry year in Java based on the 1901-1916 Indonesian rainfall data 3 . 学会等名 The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2 . 発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3 . 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4 . 発表年	2
The 11th European Association for Southeast Asian Studies Conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2 . 発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3 . 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (国際学会) 4 . 発表年	Characteristics of rainfall variability and the abnormal condition in the dry year in Java based on the 1901–1916 Indonesian
1. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2. 発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3. 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History(国際学会) 4. 発表年	
1. 発表者名 Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2. 発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3. 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History(国際学会) 4. 発表年	
Junpei HIRANO, Takehiko MIKAMI, Masumi ZAIKI 2 . 発表標題 Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3 . 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History(国際学会) 4 . 発表年	20214
Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3 . 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History(国際学会) 4 . 発表年	
Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in Japan 3 . 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History(国際学会) 4 . 発表年	
The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History(国際学会) 4 . 発表年	Combined Analysis of Early Instrumental Data and Historical Daily Weather Documents for Winter Climate Reconstruction in

1.発表者名
Akasaka, I.
2.発表標題
Climatology and interannual variability in rainfall in the Philippines from the late 19th century to the early 20th century
European Association for Southeast Asian Studies (EuroSEAS) 2021 (国際学会)
European Association for Southeast Asian Studies (European 2021 (国际子女)
2021年
20217
1.発表者名
Akasaka, I.
ANASANA, I.
2.発表標題
Data rescue of Philippine meteorological data
3 . 学会等名
ACRE 2021 Virtual Workshop(国際学会)
4.発表年
2021年
1.発表者名
Akasaka, I., Zaiki, M., Kubota, H. and Matsumoto, J.
2. 発表標題
Seasonal changes in rainfall and surface wind at Manila for the late 19th century
コードル 学
3.学会等名
34th International Geographical Union(国際学会)
4.発表年
4 . 完衣牛 2021年
4V41 *
1.発表者名
Togo Tsukahara
Science, Technology and Society (STS) in East and Southeast Asia
consists, realizably and country (ora) in East and countinust Asia
3.学会等名
東南アジア学会第104回研究大会(招待講演)
4 . 発表年
2021年

1.発表者名 Togo Tsukahara
2. 発表標題 Climate on Naval Battle: Dutch logbook as historical material
3 . 学会等名 SEAS2021 (国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Yoshinori Taniguchi, Togo Tsukahara, Hirohisa Suzuki
2. 発表標題 Historical changes in a local stream and fish assemblages revealed through folktales and interviews with local villagers in the Hida region, central Japan
3.学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History (EAEH 2021)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名
松本 淳, 三上岳彦, 久保田尚之, 赤坂郁美, 財城真寿美, 寺尾 徹, 木口雅司, 釜堀弘隆, 遠藤伸彦, 福島あずさ, 山本晴彦, 小林 茂, 塚原東吾, 太田 淳, 平野淳平, 市野美夏, 村治能孝
松本 淳,三上岳彦,久保田尚之,赤坂郁美,財城真寿美,寺尾 徹,木口雅司,釜堀弘隆,遠藤伸彦,福島あずさ,山本晴彦,小林 茂,
松本 淳, 三上岳彦, 久保田尚之, 赤坂郁美, 財城真寿美, 寺尾 徹, 木口雅司, 釜堀弘隆, 遠藤伸彦, 福島あずさ, 山本晴彦, 小林 茂, 塚原東吾, 太田 淳, 平野淳平, 市野美夏, 村治能孝 2.発表標題
松本 淳, 三上岳彦, 久保田尚之, 赤坂郁美, 財城真寿美, 寺尾 徹, 木口雅司, 釜堀弘隆, 遠藤伸彦, 福島あずさ, 山本晴彦, 小林 茂, 塚原東吾, 太田 淳, 平野淳平, 市野美夏, 村治能孝 2.発表標題 モンスーンアジアの気象データレスキュー: ACRE-Japanでのアジアモンスーン域におけるデータレスキュー 3.学会等名
松本 淳, 三上岳彦, 久保田尚之, 赤坂郁美, 財城真寿美, 寺尾 徹, 木口雅司, 釜堀弘隆, 遠藤伸彦, 福島あずさ, 山本晴彦, 小林 茂, 塚原東吾, 太田 淳, 平野淳平, 市野美夏, 村治能孝 2.発表標題 モンスーンアジアの気象データレスキュー: ACRE-Japanでのアジアモンスーン域におけるデータレスキュー 3.学会等名 日本気象学会第9回気象学史研究会 4.発表年
松本 淳, 三上岳彦, 久保田尚之, 赤坂郁美, 財城真寿美, 寺尾 徹, 木口雅司, 釜堀弘隆, 遠藤伸彦, 福島あずさ, 山本晴彦, 小林 茂, 塚原東吾, 太田 淳, 平野淳平, 市野美夏, 村治能孝 2.発表標題 モンスーンアジアの気象データレスキュー: ACRE-Japanでのアジアモンスーン域におけるデータレスキュー 3.学会等名 日本気象学会第9回気象学史研究会 4.発表年 2021年
松本 淳, 三上岳彦, 久保田尚之, 赤坂郁美, 財城真寿美, 寺尾 徹, 木口雅司, 釜堀弘隆, 遠藤伸彦, 福島あずさ, 山本晴彦, 小林 茂, 塚原東吾, 太田 淳, 平野淳平, 市野美夏, 村治能孝 2. 発表標題 モンスーンアジアの気象データレスキュー: ACRE-Japanでのアジアモンスーン域におけるデータレスキュー 3. 学会等名 日本気象学会第9回気象学史研究会 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 笹本浩子

1.発表者名
Hiroko Sasamoto, Koshi Yoshida
2.発表標題
An Attempt to Describe Flooding in Batavia in the Late 19th Century and the Early 20th Century under the Dutch Colonial Rule
3 . 学会等名
The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History(国際学会)
4.発表年
2021年
-v-· ;
1
1. 発表者名
Hiroko Sasamoto
2 . 発表標題
Historical Urban Land Use/Cover Digitization for GIS Analyses based on Hydrological Consideration: A Case in Batavia/Jakarta
J
3 . 学会等名
ANGIS (Asian Network for GIS-based Historical Studies) Tokyo 2021 (国際学会)
4.発表年
2021年
1.発表者名
Atsushi Ota
ALLOWS Al
2
2. 発表標題
Lampung in the Eighteenth Century
3.学会等名
International Conference and Cultural Event of Lampung 2021(招待講演)(国際学会)
A CONTRACT OF THE PROPERTY OF
4.発表年
2021年
1.発表者名
Atsushi Ota
2 . 発表標題
Rainfall and Malaria in Jakarta in the 1910s
nannan ana matatta in ganarta in tilo 10105
2
3 . 学会等名
EuroSEAS 2021 Conference(国際学会)
4.発表年
4 . 発表年 2021年

4 N++V4
1.発表者名 Atsushi Ota
2.発表標題
Rice Crisis in Colonial Java: A Preliminary Analysis of Climatic Influence on Agriculture in Tropical Asia
2
3.学会等名 EAEH 2021 Conference(国際学会)
4 . 発表年 2021年
20217
1. 発表者名
三上岳彦,長谷川直子,財城真寿美,平野淳平,塚原東吾,ブルース バートン
2.発表標題
日記天候記録と気象データによる過去320年間の気温変動復元
3.学会等名
日本地理学会2022年春季学術大会
4.発表年
2022年
1.発表者名
久保田尚之,塚原東吾,平野淳平,財城真寿美,松本淳
2 . 発表標題 オランダ軍艦の航海日誌に基づいて推定した安政江戸台風の大きさ
オププチ単幅の肌/母ロ心に奉ういて推定した女政江戸日風の八ささ
3 . 学会等名
日本地理学会2022年春季学術大会
4.発表年
2022年
1 . 発表者名 赤坂郁美・財城真寿美・久保田尚之・松本 淳
2 . 発表標題
1868~1900年のマニラにおける卓越風と降水量の季節進行
3
3.学会等名 日本地理学会春季学術大会
4 . 発表年 2020年
TATO T

1.発表者名 Togo Tsukahara
2. 発表標題 Meteorological records from Dutch log-books, 1850s – 1860s: Japan's Opening-Nation period climate reconstruction by the Four Nations Fleet at the Bombardment of Shimonoseki.
3.学会等名 ACRE China, Japan, S.E. Asia (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Togo Tsukahara
2. 発表標題 Needham's Japan, Japan's Needham: Legacy of "Science and Civilization in China". 李約瑟『中国科学技術史(中国的科学与文明)』和日本科学史
3.学会等名 Beijing Forum (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Togo Tsukahara
2. 発表標題 Environmental Factors in Modernized Empire: Japan's Agricultural Meteorology in Early 20th Century, a controversy and its ecological context.
3.学会等名 農業気象学史ワークショップ(国際学会)
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Togo Tsukahara and Alice de Jong
2 . 発表標題 Analysis of Dutch Naval Logbooks

3 . 学会等名

4 . 発表年 2019年

Netherlands-Japan Historical Climatology Workshop(国際学会)

1 . 発表者名 Togo Tsukahara, Alice de Jong and Atsushi Ota
2 . 発表標題 Work-in-Progress on Analysis of Dutch Naval Logbooks, with special reference to Shimonoseki War.
3.学会等名 歴史の中の気候気候の中の歴史 : 国際シンポジウム (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Togo TSUKAHARA
2. 発表標題 Environmental Factors in Modernized Empire: Japan's agricultural meteorology in early 20th century, a controversy and its ecological context.
3 . 学会等名 15th ICHSEA 2019 (International Conference on the History of Science in East Asia) (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1. 発表者名 Togo TSUKAHARA
2.発表標題 "Polycentric East Asia": From the Perspectives of Traditional Historiography and "Science and Empires"
3 . 学会等名 15th ICHSEA 2019 (International Conference on the History of Science in East Asia) (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 塚原東吾
2.発表標題 科学史・科学哲学、STS(科学技術社会論)の 視点から見た『ソサエティ5.0』
3.学会等名 「みんなのSDGs」シンポジウム
4.発表年 2019年

1. 発表者名
Atsushi Ota
2.発表標題
Historical Climatology in the Perspectives of Humanities: JSPS research project, 2019-2014
a. W.A. Maria
3.学会等名
Netherlands-Japan Historical Climatology Workshop(国際学会)
4 - 改主に
4. 発表年
2019年
1
1.発表者名
Atsushi Ota
2.発表標題
Collaboration between Historical Climatology and History: JSPS research project, 2019-2024
correspond to the section of the section of the section project, 2010 2024
3 . 学会等名
歴史の中の気候気候の中の歴史 : 国際シンポジウム (国際学会)
4. 発表年
2019年
1. 発表者名
Atsushi Ota
2.発表標題
2 . 光衣标题 Climatological factors in the 1920-21 crop failure in Java
orimatorogroat factors in the 1320-21 crop farrule in Java
3. 学会等名
International Workshop "Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia" (国際学会)
4.発表年
2020年
1. 発表者名
赤坂郁美・財城真寿美・久保田尚之・松本 淳
0 7V + LEGE
2.発表標題
1868~1900年のマニラにおける卓越風と降水量の季節進行
3.学会等名
日本地理学会春季学術大会
╗┱╩┸┰╻┎┲┲╫╟╱┷ ╸
4 . 発表年
2019年

1.発表者名 Akasaka, I.
2 . 発表標題 Seasonal changes in surface wind and rainfall at Manila for the late 19th century. International Workshop on Climate in History in Asia.
3 . 学会等名 歴史の中の気候気候の中の歴史 : 国際シンポジウム (国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 Akasaka, I.
2. 発表標題 Climatology and changes in rainfall characteristics in the Philippines from the late 19th century to the early 20th century. International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia.
3 . 学会等名 International Workshop "Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia" (国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 赤坂郁美
2 . 発表標題 フィリピン・ルソン島の気候風土とその変化 .
3 . 学会等名 専修大学人文科学研究所定例研究会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 財城真寿美
2 . 発表標題 江戸・東京の気候変動
3 . 学会等名 第13回高等教育におけるESDフォーラム
4 . 発表年 2019年

1.発表者名
Hirano, J., Mikami, T., Zaiki, M., Konnen, G., Baede, F.
2.発表標題
2 . 光衣信题 Reconstruction of typhoon tracks affected Kyushu, western Japan in 1828.
Reconstruction of typhoon tracks affected Ryushu, Western Japan III 1020.
3.学会等名
The 2019 Annual Meeting of the European Meteorological Society.(国際学会)
The 2019 Annual meeting of the European meteororgical occiety. (国际手云)
4.発表年
2019年
20134
1.発表者名
Zaiki, M.
2.発表標題
Seasonal rainfall characteristics and monsoon variability based on the 1901-1916 Indonesian rainfall data.
Seasonal farmati characteristics and monsoon variability based on the 1901-1910 indonestan farmati data.
3.学会等名
J. アムマロ International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会)
memational norkship on crimate and orban/hural beveropment in colonial southeast Asia. (国际子会)
4 . 発表年
2020年
2020+
1
1.発表者名
1.発表者名 Noriyuki Osada
Noriyuki Osada
Noriyuki Osada 2.発表標題
Noriyuki Osada
Noriyuki Osada 2.発表標題
Noriyuki Osada 2.発表標題
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会)
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4 . 発表年
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会)
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4 . 発表年 2020年
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4 . 発表年 2020年
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4 . 発表年 2020年
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4 . 発表年 2020年
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4 . 発表年 2020年
2. 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3. 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4. 発表年 2020年 1. 発表者名 Hiroko Sasamoto
2.発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3.学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4.発表年 2020年 1.発表者名 Hiroko Sasamoto
2. 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3. 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4. 発表年 2020年 1. 発表者名 Hiroko Sasamoto
2.発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3.学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4.発表年 2020年 1.発表者名 Hiroko Sasamoto
2.発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3.学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4.発表年 2020年 1.発表者名 Hiroko Sasamoto
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 Hiroko Sasamoto 2 . 発表標題 "Floods and the Water Management in Batavia under the Dutch Rule"
Noriyuki Osada 2. 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3. 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4. 発表年 2020年 1. 発表者名 Hiroko Sasamoto 2. 発表標題 "Floods and the Water Management in Batavia under the Dutch Rule" 3. 学会等名
Noriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 Hiroko Sasamoto 2 . 発表標題 "Floods and the Water Management in Batavia under the Dutch Rule"
Roriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 Hiroko Sasamoto 2 . 発表標題 "Floods and the Water Management in Batavia under the Dutch Rule" 3 . 学会等名 歴史の中の気候気候の中の歴史: 国際シンポジウム(国際学会)
2. 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3. 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4. 発表年 2020年 1. 発表者名 Hiroko Sasamoto 2. 発表標題 "Floods and the Water Management in Batavia under the Dutch Rule" 3. 学会等名 歴史の中の気候気候の中の歴史: 国際シンポジウム(国際学会) 4. 発表年
Roriyuki Osada 2 . 発表標題 Climate fluctuations and agriculture in colonial Burma: A preliminary consideration 3 . 学会等名 International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia. (国際学会) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 Hiroko Sasamoto 2 . 発表標題 "Floods and the Water Management in Batavia under the Dutch Rule" 3 . 学会等名 歴史の中の気候気候の中の歴史: 国際シンポジウム(国際学会)

1.発表者名
Hiroko Sasamoto
2.発表標題
"Re-recognition of Urban Topography through Flooding in Batavia in the Second Half of the 19th Century"
3.学会等名
International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial Southeast Asia.(国際学会)
4.発表年
2020年
2020—
1
1 . 発表者名
太田淳
2.発表標題
植民地期西ジャワ農民の環境対応:近代灌漑の導入と米不作をめぐるふるまい
3.学会等名
歴史学会大会シンポジウム2023「近現代の人間社会と自然をめぐるふるまい」
4.発表年
2023年
1.発表者名
Atsushi Ota
Atousiii ota
2. 艾生 桂 田 日
2.発表標題
Rainfall, Irrigation, and Rice Cultivation in West Java in the 1900s
3.学会等名
the International Conference of the History of Science in East Asia (ICHSEA)(国際学会)
4 . 発表年
2023年
1.発表者名
Atsushi Ota
2.発表標題
Economic History and the Chinese Century
Economic motory and the difficulty
2
3 . 学会等名
JSSEAS & NIHU-MAPS Joint Conference: Southeast Asia as Critical Crossroads: Dialogues with Anthony Reid(国際学会)
4.発表年
2023年

1. 発表者名
Atsushi Ota
2. 英丰価店
2 . 発表標題 Rainfall and Rice Cultivation in West Java in the 1900s
Name of the traction in west save in the research
3.学会等名
the Seventh Biennial Conference of East Asian Environmental History (EAEH) (国際学会)
4 . 発表年 2023年
2020—
1 . 発表者名
Zaiki, M., MIKAMI, T.
2. 発表標題
19th century meteorological records in Japan and its scientific use
3.学会等名
3 . 子云寺石 The 16th International Conference on the History of Science in East Asia(国際学会)
4.発表年
2023年
1.発表者名
財城 真寿美
2. 発表標題
19世紀の日本における気象観測の記録とその気候変動研究での利用
3 . 学会等名 奈良地理学会2023年度夏季例会
示民地理子云2023年反复字例云
4 . 発表年
2023年
1.発表者名
財城 真寿美
2.発表標題
シーボルトによる気象観測
3 . 学会等名
2023年度日本魚類学会年会シンポジウム「シーボルト魚類標本と江戸参府紀行」
2023年

1	. 発表者名 財城 真寿美
	划 <i>机</i>
2	・発表標題
	出島(長崎)における19世紀の気象観測記録
3	,学会等名
	シーボルト来航200年記念、国際シンポジウム 「出島での気象観測とその歴史的意義:環境史・東西交流史の観点から」
4	. 発表年
	2023年
1	. 発表者名
	Osada Noriyuki
2	. 発表標題
	"Southeast Asian Genius: How the Region Manages Its Diversity?"
3	. 学会等名
_	JSSEAS & NIHU-MAPS Joint Conference "Southeast Asia as Critical Crossroads: Dialogues with Anthony Reid" (国際学会)
4	.発表年
	2023年
1	.発表者名
	Akasaka, I., Zaiki, M., Kubota, H.and Matsumoto, J.
2	. 発表標題
_	ে সংখ্যাক্ষর Seasonal changes in rainfall and surface wind at Manila for the late 19th century.
3	. 学会等名 The 16th International Conference on the History of Science in East Asia(国際学会)
1	・. 発表年
4	2023年
1	. 発表者名
ı	· 宪表有名 赤坂郁美,久保田尚之,松本 淳
2	. 発表標題 フィリピン北西部における1903年の干ばつの気候学的特徴と農業への影響
3	,学会等名 2024年日本地理学会表示学练士会
	2024年日本地理学会春季学術大会
4	発表年
	2024年

1 . 発表者名 塚原東吾, アリス・デ・ヨング
2 . 発表標題 オランダ海軍の航海日誌研究の概要 オランダ海軍の航海日誌と気象データ:歴史気象学の新たなフェーズに向けて
2 24 4 77 57
3 . 学会等名 Workshop "Towards a New Phase of Historical Climatology: Dutch Navy Logbooks and Climatological Information"(国際学会)
4 . 発表年 2024年
1.発表者名 塚原東吾
2.発表標題 東アジアの気象観測:南懐仁、蘭学、そして科学と帝国主義
2. 当 <u>人</u> 生存
3.学会等名 第3回グローバルSTS会議(シンガポール(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 塚原東吾
2. 発表標題 歴史の中の気候変動:回顧と展望
3 . 学会等名 北京論壇(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2023年
1.発表者名 塚原東吾
2 . 発表標題 オランダ海軍航海日誌、デジタイズの進行状況報告
3.学会等名 オランダ学術会議(KNAW)コラボレーションWS(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 塚原東吾	
2 . 発表標題 環境史の素材:気候再現のための素材としてのオランダ海軍の航海日誌	
3 . 学会等名 第16回国際東アジア科学史学会(フランクフルト)(国際学会)	
4 . 発表年 2023年	
1 . 発表者名 久保田 , 塚原東吾 , 平野 , 松本 , 財城 , 三上、アラン , ウィルキンソン、デ・ヨング	
2 . 発表標題 19世紀アジアモンスーン地帯におけるデータレスキュー	
3.学会等名 第20回アジアオセアニア地球科学会(招待講演)(国際学会)	
4 . 発表年 2023年	
〔図書〕 計38件	
1.著者名 財城真寿美	4 . 発行年 2023年
2.出版社 風間書房	5.総ページ数 340
3.書名 成蹊大学文学部学会編『歴史の蹊、史料の杜』	
1.著者名 財城真寿美	 4.発行年 2023年
2.出版社 丸善出版	5.総ページ数 842
3.書名 「気候変動と適応」公益社団法人日本地理学会 編『地理学事典』	

1.著者名 財城真寿美	4 . 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5 . 総ページ数 842
3 . 書名 「観測時代の気候変動」公益社団法人日本地理学会 編『地理学事典』	
1.著者名 赤坂郁美	4 . 発行年 2023年
2 . 出版社 丸善出版	5.総ページ数 842
3.書名 「大気大循環と気候」公益社団法人日本地理学会 編『地理学事典』	
1.著者名 赤坂郁美	4 . 発行年 2022年
2.出版社 朝倉書店	5.総ページ数 ⁴³⁰
3.書名 「南アジア・東南アジアにおける地域的な気候特性・局地風」山川 修治、江口 卓、高橋 日出男、常盤 勝美、平井 史生、松本 淳、山口 隆子、山下 脩二、渡来 靖編『図説 世界の気候事典』	
1.著者名 長田紀之	4 . 発行年 2022年
2. 出版社 岩波書店	5 . 総ページ数 318
3.書名 「環ベンガル湾世界の植民地化 ミャンマー/ビルマに焦点を当てて」吉澤誠一郎,林佳世子(責任編集) 『岩波講座 世界歴史 第17巻 近代アジアの動態 19世紀 』	

1.著者名	4.発行年
太田淳	2023年
	5.総ページ数
2 · 山版社	404
기나르/나	
3 . 書名	
3 . 青石 「商業の時代」久志本裕子、野中葉編『東南アジアのイスラームを知るための64章』	
・	
1.著者名	4 . 発行年
太田淳	2022年
2 . 出版社	5.総ページ数
岩波書店	324
~・日日 「グローバル貿易と東南アジア海域世界の「海賊」」弘末雅士・吉澤誠一郎編『東アジアと東南アジアの	
グローバル負易と来角アンア海域性がの一海賊」」弘木雅工・日澤誠 印刷 ネアンアと来角アンアの 近世 15~18世紀』	
	I
1 菜耂夕	4
1 . 著者名	4 . 発行年
笹本浩子	2023年
	1
1	
	- to 2 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
2.出版社	5 . 総ページ数
2. 出版社 臨川書店	5.総ページ数 ³⁹²
臨川書店	
臨川書店 3.書名	
臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して-蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善-」籠谷直人、川	
臨川書店 3.書名	
臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して-蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善-」籠谷直人、川	
臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』	392
臨川書店3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』1.著者名	392
臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』	392
臨川書店3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』1.著者名	392
臨川書店3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』1.著者名	392
臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』 1.著者名 アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志	392 4.発行年 2021年
 臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』 1.著者名 アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志 2.出版社 	392 4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』 1.著者名 アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志	392 4.発行年 2021年
 臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』 1.著者名 アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志 2.出版社 	392 4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
 臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』 1.著者名 アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志 2.出版社 名古屋大学出版会 	392 4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
 臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』 1.著者名 アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志 2.出版社名古屋大学出版会 3.書名 	392 4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
 臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』 1.著者名 アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志 2.出版社 名古屋大学出版会 	392 4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
 臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』 1.著者名 アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志 2.出版社名古屋大学出版会 3.書名 	392 4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
 臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』 1.著者名 アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志 2.出版社名古屋大学出版会 3.書名 	392 4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
 臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』 1.著者名 アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志 2.出版社名古屋大学出版会 3.書名 	392 4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
 臨川書店 3.書名 「「マラリア撲滅」を目指して一蘭印植民地期の工学の進展とバタヴィアの水環境改善ー」籠谷直人、川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』 1.著者名 アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志 2.出版社名古屋大学出版会 3.書名 	392 4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数

1 \$20	4 発仁左
1 . 著者名	4.発行年
アンソニー・リード、太田 淳、長田 紀之、青山 和佳、今村 真央、蓮田 隆志	2021年
2.出版社	5 . 総ページ数
名古屋大学出版会	386
3 . 書名	
世界史のなかの東南アジア[下]	
にが入いなが少不用ノフノして」	
1 茎字夕	A
1 . 著者名	4 . 発行年
井上雅俊,塚原東吾	2021年
2. 出版社	5.総ページ数
ここの この ことの この こ	3 . 続い、一 ン 数 410
ニホルファ盲店	710
3.書名	
- 「ウラニウム:現代史における原子力性」桃木 至朗 責任編集 中島 秀人 編集協力『ものがつなぐ世界	
・ フラーフム・流行文にのけるが「万庄」が木 主の 真正編集 行曲 カス 編集励力 600 7 7 8 7 E 7 F	
×- u	
1.著者名	4.発行年
1.著者名 塚原東吾	4 . 発行年 2021年
塚原東吾	2021年
塚原東吾 2.出版社	2021年
塚原東吾	2021年 5 . 総ページ数
塚原東吾 2.出版社	2021年 5 . 総ページ数
塚原東吾 2.出版社 思文閣	2021年 5 . 総ページ数
塚原東吾 2.出版社 思文閣 3.書名	2021年 5 . 総ページ数
塚原東吾 2. 出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編	2021年 5 . 総ページ数
塚原東吾 2.出版社 思文閣 3.書名	2021年 5 . 総ページ数
塚原東吾 2. 出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編	2021年 5 . 総ページ数
塚原東吾 2. 出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編	2021年 5 . 総ページ数
塚原東吾 2. 出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編	2021年 5 . 総ページ数
塚原東吾 2. 出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編	2021年 5 . 総ページ数
塚原東吾 2. 出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』	2021年 5.総ページ数 ₅₁₆
塚原東吾 2.出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1.著者名	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年
塚原東吾 2. 出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』	2021年 5.総ページ数 ₅₁₆
塚原東吾 2.出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1.著者名	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年
塚原東吾 2.出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1.著者名	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年
塚原東吾 2.出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1.著者名	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年
塚原東吾 2 . 出版社 思文閣 3 . 書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1 . 著者名 塚原東吾	2021年 5 . 総ページ数 516 4 . 発行年 2021年
塚原東吾 2 . 出版社 思文閣 3 . 書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 出版社	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年 2021年
塚原東吾 2 . 出版社 思文閣 3 . 書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1 . 著者名 塚原東吾	2021年 5 . 総ページ数 516 4 . 発行年 2021年
塚原東吾 2 . 出版社 思文閣 3 . 書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 出版社	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年 2021年
塚原東吾 2. 出版社 思文閣 3. 書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1. 著者名 塚原東吾 2. 出版社 丸善出版	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年 2021年
塚原東吾 2. 出版社 思文閣 3. 書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1. 著者名 塚原東吾 2. 出版社 丸善出版	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年 2021年
塚原東吾 2 . 出版社 思文閣 3 . 書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 出版社 丸善出版 3 . 書名	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年 2021年
塚原東吾 2.出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1.著者名 塚原東吾 2.出版社 丸善出版 3.書名 「実験:あるがままでは,ない,自然の見方,気象学史,自然学から数量化とネットワークへ,江戸時代の	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年 2021年
塚原東吾 2 . 出版社 思文閣 3 . 書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1 . 著者名 塚原東吾 2 . 出版社 丸善出版 3 . 書名	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年 2021年
塚原東吾 2.出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1.著者名 塚原東吾 2.出版社 丸善出版 3.書名 「実験:あるがままでは,ない,自然の見方,気象学史,自然学から数量化とネットワークへ,江戸時代の	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年 2021年
塚原東吾 2.出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1.著者名 塚原東吾 2.出版社 丸善出版 3.書名 「実験:あるがままでは,ない,自然の見方,気象学史,自然学から数量化とネットワークへ,江戸時代の	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年 2021年
塚原東吾 2.出版社 思文閣 3.書名 「気象観測機器」青木歳幸,海原亮,沓澤宣賢,藤賢一,イサベル・田中・ファンダーレン,松方冬子編『洋学史研究事典』 1.著者名 塚原東吾 2.出版社 丸善出版 3.書名 「実験:あるがままでは,ない,自然の見方,気象学史,自然学から数量化とネットワークへ,江戸時代の	2021年 5.総ページ数 516 4.発行年 2021年

4.1.5	
1.著者名	4 . 発行年
塚原東吾、岡本江里菜、黒澤里吏	2021年
2.出版社	5.総ページ数
ニュートンプレス	224
3.書名	
グレートプレイクスルー 科学技術大事典	
	I
1.著者名	4 . 発行年
中屋敷優、山名優衣、高田桃香、塚原東吾	2022年
	5.総ページ数
こ・山脈で 神戸STS叢書	67 Z Z Z
3.書名	
シャマユーは「狩るモノ」と「狩られるモノ」の関係をどう考えるのか?	
1 菜老夕	4
│ 1 .著者名 │ 吉澤 誠一郎、石川 博樹、太田 淳、太田 信宏、小笠原 弘幸、宮宅 潔、四日市 康博	4 . 発行年 2021年
日本 MA MA、日川 体域、公田 体、公田 旧公、小五学 74、百七 18、四日市 1819 	20217
	F MA 10 SWALL
2.出版社	5.総ページ数 378
ミネルヴァ書房	310
3 . 書名	
論点・東洋史学 - アジア・アフリカへの問い158	
1.著者名	4.発行年
太田 淳	2021年
2.出版社	5.総ページ数
太田 淳	378
3.書名	
「「華人の世紀」再考;華人だけが主役だったのか」吉澤誠一郎(監修)、石川博樹・太田淳・太田信宏・	
小笠原弘幸・宮宅潔・四日市康博(編著)『論点・東洋史学 - アジア・アフリカへの問い158』	
	I

1.著者名 太田 淳	4 . 発行年 2021年
2.出版社 太田 淳	5 . 総ページ数 ³⁷⁸
3 . 書名 「植民地期東南アジアの社会変容;植民地支配は何をかえたのか」吉澤誠一郎(監修)、石川博樹・太田 淳・太田信宏・小笠原弘幸・宮宅潔・四日市康博(編著)『論点・東洋史学 - アジア・アフリカへの問い 158』	
1.著者名 太田淳	4 . 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5.総ページ数 ⁷⁴⁶
3.書名 「港市」社会経済史学会編『社会経済史学事典』	
1 . 著者名 荒川 正晴、大黒 俊二、小川 幸司、木畑 洋一、冨谷 至、中野 聡、永原 陽子、林 佳世子、弘末 雅士、 安村 直己	4 . 発行年 2022年
2 . 出版社 岩波書店	5 . 総ページ数 ³²⁴
3.書名 「グローバル貿易と東南アジア海域世界の「海賊」」弘末雅士・吉澤誠一郎編『東アジアと東南アジアの 近世 15~18世紀』	
1.著者名 井上雅俊、塚原東吾	4 . 発行年 2021年
2 . 出版社 ミネルヴァ書房	5 . 総ページ数 410
3 . 書名 「ウラニウム:現代史における原子力性」、『ものがつなぐ世界史』(ミネルヴァ世界史叢書 5)	

1.著者名 Togo Tsukahara	4.発行年 2021年
2 HIE->1	「
2.出版社 Springer	5.総ページ数 312
3.書名 "Global Climate Change and Uncertainty: An Examination from the History of Science," in Risks and Regulation of New Technologies, edited by Tsuyoshi MatsudaJonathan WolffTakashi Yanagawa	
1.著者名 塚原東吾	4 . 発行年 2020年
2.出版社 新教出版社	5.総ページ数 ¹⁹³
3.書名 「オリンピックとカジノ万博は現代のバベルの塔か?:科学技術とプロテスタンティズムの倫理」新教出版社編集部編 ; 有住航 [ほか] 執筆『現代のバベルの塔 : 反オリンピック・反万博』	
	4 36/-/-
1.著者名 塚原東吾	4 . 発行年 2020年
2.出版社 東京大学出版会	5.総ページ数 ¹⁹⁹
3.書名 「東アジアと欧州のSTS」藤垣裕子責任編集『科学技術社会論とは何か』	
1.著者名 太田淳(著)信田敏宏ほか(編)	4 . 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5 . 総ページ数 832
3.書名 「「商業の時代」の東南アジア」『東南アジア文化事典』	

1 英字夕	4 ※行在
1.著者名 太田淳(著)信田敏宏ほか(編)	4 . 発行年 2019年
ハロ/ナ (´目 / Iロ川弘公Iめ/) (両 /	2013 -1
	- 10 6 - 200
2. 出版社	5.総ページ数
丸善出版	832
3 . 書名	
「植民化の波」『東南アジア文化事典』	
1 . 著者名	4 . 発行年
太田淳(著)信田敏宏ほか(編)	2019年
2. 出版社	5.総ページ数
丸善出版	832
3 . 書名	
3.書名 「東南アジアを取り巻く世界」『東南アジア文化事典』	
本市ノファで扱うご↑に2F」 本用ナンチ入心事央』	
1.著者名	4.発行年
「・看有有 塚原東吾 [ほか] 編著	2019年
SAMPLE [IRA] WINDER	2010 1
2 ШКЭТ	L 7/7 % > , , , , ,
2.出版社 神戸STS研究会	5 . 総ページ数 144
TIP/CUUNI/NA	137
3 . 書名	
アジアの気候再現 : 航海日誌・モンスーン・台風をめぐる人文学と気象学のトランスサイエンス : 連続	
国際ワークショップ資料集	
1 . 著者名	4.発行年
塚原東吾、藤原辰史(著)、アーロン・S.モーア(著)、塚原東吾(監訳)	2019年
2. 出版社	5.総ページ数
人文書院	367
3 . 書名	
3 · = 日 『「大東亜」を建設する : 帝国日本の技術とイデオロギー 』	
,	

1.著者名	4 . 発行年
塚原東吾 [ほか] 編著	2020年
- Subsect Freed 1 and El	
	F 1/4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
2.出版社	5.総ページ数
神戸STS研究会	115
	1
3 · 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	1
1.著者名	4 . 発行年
長田紀之(著)信田敏宏ほか(編)	2019年
2.出版社	5.総ページ数
	5 . 総ペーン数 832
丸善出版	032
3.書名	
「「都市の世界」」『東南アジア文化事典』	
	1
1.著者名	4.発行年
長田紀之(著)信田敏宏ほか(編)	2019年
2.出版社	5.総ページ数
丸善出版	832
う・音 1 「デルタの世界」『東南アジア文化事典』	
ノルノツにアア』 不用ノノノス心宇突』	
	1
1.著者名	4 . 発行年
太田 淳	2024年
	·
2.出版社	5.総ページ数
ミネルヴァ書房	336
3,書名	_
「海へ下るコーヒーと山に登るココヤシ‐19世紀ミナハサにおける商品作物栽培と人口増‐」脇村孝平編	
著『近現代熱帯アジアの経済発展・人口・環境・資源・』	

1 . 著者名 太田淳	4 . 発行年 2023年
2. 出版社昭和堂	5 . 総ページ数 ²⁸⁸
3 . 書名 「グローバリゼーション」前川一郎編『歴史学入門 - だれにでもひらかれた14講』	
1 . 著者名 古田和子・太田淳編	4 . 発行年 2024年
2.出版社 岩波書店	5 . 総ページ数 ³⁵²
3.書名『アジア経済史(上)』	
1 . 著者名 長田紀之	4 . 発行年 2024年
2 . 出版社 ミネルヴァ書房	5.総ページ数 336
3.書名 「歴史からみる東南アジアの国家とリスケーリング」玉野 和志、船津 鶴代、齊藤 麻人 編著『東南アジアにおける国家のリスケーリング : 都市研究と地域研究との対話』	
1 . 著者名 デイン・ケネディ (著) / 長田紀之(訳)	4 . 発行年 2023年
2. 出版社 白水社	5 . 総ページ数 ¹⁷⁸
3.書名『脱植民地化: 帝国・暴力・国民国家の世界史』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6 . 研究組織

. 6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	赤坂 郁美	専修大学・文学部・教授	
研究分担者	(Ikumi Akasaka)		
	(40574140)	(32634)	
	財城 真寿美	成蹊大学・経済学部・教授	
研究分担者	(Zaiki Masumi)		
	(50534054)	(32629)	
	長田 紀之 (Osada Noriyuki)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センター動向分析研究グループ・研究員	
	(70717925)	(82512)	
	塚原 東吾 (Tsukahara Togo)	神戸大学・国際文化学研究科・教授	
	(80266353)	(14501)	
	(- /	1, ,	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	笹本 浩子		

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

CHINADORES HIT	
国際研究集会	開催年
Netherlands-Japan Historical Climatology Workshop	2019年~2019年
国際研究集会	開催年
歴史の中の気候、気候の中の歴史 : 国際シンポジウム	2019年~2019年
国際研究集会	開催年
International Workshop on Climate and Urban/Rural Development in Colonial	2020年~2020年
Southeast Asia.	
国際研究集会	開催年
Workshop "Towards a New Phase of Historical Climatology: Dutch Navy Logbooks and	2023年~2023年
Climatological Information"	

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------